

平成 30 年度 教科目研究会報告

- 1 実施日 1 日目 平成 30 年 7 月 30 日 (月) 13 時 30 分～17 時 00 分
2 日目 平成 30 年 7 月 31 日 (火) 9 時 30 分～12 時 20 分

2 担当校 東京都立工芸高等学校

3 参加校と参加人数 12 校、1 日目 32 人、2 日目 27 人

4 日程

1 日目 開会行事 (第 12 回ものデザインコンテスト表彰式含む)

技能検定 3 級家具製作(家具手加工作業)の指導のポイント

1. 本校の事例紹介

2. 技能検定について

中央職業能力開発協会 技能検定部

副統括 技能検定専門役(建設担当) 小林英司 様

3. 技能検定 3 級家具製作(家具手加工作業)の指導のポイント、
実技体験

講師 ものづくりマイスター 加藤 史典 先生

2 日目 ローランドディー.ジー.株式会社東京クリエイティブセンターにて、
特殊プリンター等を使用したセミナーと体験学習

内容

1 日目

今年の関東地方は 7 月に入って梅雨明けとなり、連日猛暑となるなか、東北から九州沖縄方面の学校まで参加した研究会となった。テーマ選定は、研究大会や理事会の席で「木工技術(の教育)の継承」に不安を抱えている現状を聞くことが多くなり、また数年前より技能検定 3 級家具部門が設けられたが、取り組むべきかどうか検討中の学校もあるように聞き、今回はそうした状況に鑑み、あえて木工の基礎や指導法についての研修会を実施することにした。

本校の実習室を会場に、技能検定 3 級家具製作(家具手加工作業)を受験した生徒の事例紹介と、製材の方法や工具管理を紹介し、次に検定の主催先である中央職業能力開発協会技能検定部 小林英司様から受験手数料減免措置、受験資格緩和措置、問題集その他全般について説明と呼びかけをしていただいた。

技能検定 3 級家具製作(家具手加工作業)指導のポイントである実技体験については、本校で技能検定指導をお願いしている「ものづくりマイスター」 加藤 史典先生より、「見せる指導」形式で、柄つき





制作における図面、仕様書、道具の管理をはじめ段階毎のポイントについて、実演し、部品サンプルも提示しながら、きめ細かな指導をしていただいた。

(見せる指導・・・柄つき 1:①勝手墨 ②加工墨 2:柄穴加工 3:柄加工 4:組立)

実技体験

柄組の実演指導後、各自制作に入る。使い慣れた鑿(3,8分程度各1本)を持参してもらい、しらがきを使った墨付けを素早く終えて加工に入る先生をはじめ、柄組に苦勞されて担当校がサポートする場面も多々あったなか、参加者全員が完成できた。



まとめ、講評、片付け

技術伝達講習、木工芸の指導力向上をねらいとしたなか、木工をこれからやって行こうとする先生、または学校に持ち帰って実習等で生徒に還元するなど、きっかりづくりとしての研究会となった。

2日目

東京に拠点を置くたくさんの企業がある中で、大型プリンター等の出力機器で有名な、株式会社ローランドディー・ジー様の協力を頂き、近年普及してきた「机上でのものづくり」の最新機器のいくつかを体験してもらった。(3チーム制：1コーナーを各40分毎に回って体験学習)

A：UVプリンター(紫外線硬化型)キーホルダープリント体験【透明アクリル、名入れ】と
ショップ向けソフトウェア説明(セミナー形式)

B：デスクトップ3D切削加工機による打刻プリンター体験【金尺、名入れ】

C：昇華プリンター(テキスト、Tシャツ、サイン)による転写体験【眼鏡ふき、ネーム入れ】



A



B



C



C:製作品

シンプルで使いやすい操作体系と、手軽に「ものづくり」が体験できた。また、持ち運びが容易にできる体験Bの切削加工機では、パーツ試作をはじめプロダクトデザインまで対応できる機能を持っていた。価格動向に注目しながらも、高等学校教育現場で活用される日が近いと考えたい。

担当 片山 路仁